



平成 30 年 3 月 30 日

各位

会社名 株式会社ポプラ
 代表者名 代表取締役社長 目黒 真司
 (コード番号 7601 東証第1部)
 問い合わせ先 執行役員経営企画室長 大竹 修
 (TEL 082-837-3510)

平成 30 年 2 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年4月11日に公表しました平成30年2月期業績予想につきまして、連結業績予想および個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 2 月期業績予想の修正 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

(1) 連結

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,653	▲42	161	178	15.18
今回修正予想 (B)	28,766	▲336	▲82	▲70	▲6.43
増減額 (B-A)	▲887	▲294	▲243	▲248	
増減率 (%)	▲2.9	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	33,270	▲468	▲435	289	29.20

(2) 個別

	営業総収入	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,787	49	72	7.29
今回修正予想 (B)	27,866	▲124	▲111	▲10.18
増減額 (B-A)	▲921	▲173	▲183	
増減率 (%)	▲3.1	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	32,044	▲440	▲533	▲53.90

2. 修正の理由

既存店ベースの売上高に関しては第3四半期末まで計画を0.6ポイント上回り好調に推移したものの、2017年12月以降は寒波による来店客数の減少および乳製品、アイスクリームなどの販売の急激な落ち込みが発生、また大雪による物流の混乱によって商品の遅配、欠品が発生し、売上、利益ともに計画を下回りました。

出店に関しては、昨年引き続き閉鎖商圏立地に特化した企業オーナーの開拓を中心に推進してまいりましたが、特に第3四半期以降に計画していた店舗のうち49店舗について出店時期の遅れが生じ、チェーン売上が18.1億円の不足となったことにより、加盟金収入不足や売上未達に伴うロイヤリティ収入不足、自社弁当工場、商品センター売上および利益の不足、商品リピートの減少などが生じました。

これら状況に対し、弁当製造部門の作業工程見直し、人員配置計画の見直しによる経費削減や物流コースの組替による物流費の圧縮などを図ったものの、収入不足を補えない状況となり前回予想を下回る見込みとなりました。

これらのことから、平成29年4月11日に公表いたしました平成30年2月期の連結ならびに個別の通期業績予想を下方修正いたします。

以上